

分娩期の母子に安全・効果的な 三陰交指圧方法の検証と確立

三陰交(さんいんこう)は足の内くるぶし上にあるツボです。お産の時に指圧すると陣痛を促進し、お産を進める効果があると考えられています。

三陰交の指圧は、助産師が日常的に行うケアの一つではあるのですが、研究が少なく、本当に効果があるか、また母子にとって安全かどうかは研究が少ないため、未だ明確ではありません。これまでの研究や、専門家との検討より、私達は妊婦さんにとって心地よい指圧方法を検討しました。本研究ではお産を間近に控えた皆様にご協力いただき、この指圧方法を実施し、三陰交指圧の安全な実施方法を確立したいと考えます。

研究の概要

対象:

1) 20~45歳未満、予定日超過で誘発分娩予定の方

2) 年齢が20歳から45歳未満の方

(その他、ご参加いただくためにはいくつかの条件があります)

※研究参加に同意をいただいても、指圧実施前に陣痛や破水が起きた方、お産になった方は、この研究に参加いただけません。

内容:

・ご入院され、誘発分娩を開始する前に、三陰交指圧(10~30分)を行います。

(痛みはありません)

・陣痛室のベッドで安楽な姿勢をとっていただき、指圧実施前から実施後まで、胎児心拍モニターと血圧計を装着し、あなたと赤ちゃんの健康状態を観察します。所要時間は90~120分です。

(所要時間は研究の段階で異なります。)

・実施後に指圧に関するアンケートにお答えいただきます。

※心配な場合、状態に変化が見られた場合はいつでも実施を中止します。



https://www.kyushin.co.jp/advice/advice_e09.html

研究代表者:和木明日香

所属・職名:大阪公立大学大学院看護学研究科 先進ケア科学領域
ウイメンズヘルスケア科学 准教授

e-mail:waki.asuka@omu.ac.jp

研究説明文書のQRコードを挿入します。